

## 発刊によせて

令和5年度の教育要覧「戸田市の教育」の発刊にあたり、日ごろより本市教育行政の発展にご理解とご協力をいただいておりますことに、あらためて御礼申し上げます。

戸田市教育委員会では、これまで積み上げてきた教育改革の成果をさらに深化させるとともに、令和5年度も、教師の働き方改革と並行して常に先の時代を見据えた様々な最先端教育に取り組み、次代を担う戸田っ子の健やかな育ちを支援していきます。その中でも、特に以下の取り組みについては力点を置いて実施していきます。

第1は、学校の防犯対策の強化です。

本年3月に市内中学校で発生した侵入者による教師刺傷事件は、これまでの安全神話を根底から覆し、私たちを震撼させました。ここに改めて、ご心配をお掛けいたしました関係者や地域の皆様に、心よりお詫び申し上げます。教育委員会では、事件当日からまずは子供たちの心のケアに当たるとともに、文部科学省の3段階のチェック体制の確立に基づき、直ちに警備員の配置、通用口のオートロック化、企業から寄附された防犯備品の配備等、スピード感を持って対応してきました。今後は、「ハードは閉じて、ソフトは開ける」という考えに基づき敷地の外周に侵入防止のためのフェンスを設置し、この学校を防犯対策のモデル校として、市内全小・中学校に同様の対策を進めていく予定です。また、地域に開かれた学校の視点において、各校の学校運営協議会でも防犯をテーマに議論いただき、学校、保護者、地域関係者が一体となって学校の防犯対策に取り組んでいきます。

第2は、最先端の教育環境の整備です。

戸田っ子にとっては既に文具化しているタブレット端末を利用した授業をさらにバージョンアップさせ、変化が著しく予測不可能な時代を生き抜く子供たちのために未来型の教育環境を整備します。具体的には、我が国のGIGAスクール構想を牽引している本市の小・中学校の全ての教室に、日本型学校教育の伝統的必須備品であった黒板に代わり電子黒板機能付きプロジェクタとホワイトボードを設置し、個別最適で協働的な学びや質の高い学びを実現します。なお、設置後は、机や椅子等の教室環境も整備する実証実験を予定しており、民間企業のノウハウや知のリソースとして大学等の英知を結集したプロジェクトチームを立ち上げ、子供の学び等に与える影響のエビデンスを得て、より効果的な利用方法を検討しながら最先端教育を実践していきます。

第3は、不登校対策のさらなる推進です。

戸田型オルタナティブ・プランを着実に実行するため、教育総合データベースから不登校の傾向等を分析し、「不登校を科学する」視点から小さなサインを見つけ出すことで、未然防止のための早期発見・早期対応に取り組んでいきます。また、昨年度、「ぱれっとルーム」を全校に設置しましたが、令和5年度は、教育センターに設置されている教育支援センター「ステップ」に加え、西部福祉センター内に「西ステップ」を新設することで、多様な学びの場を拡充し、SDGsの理念に基づく誰一人取り残されない教育を実現していきます。

以上、令和5年度に取り組む主な教育改革を申し上げますが、本要覧は、本市における教育行政全般、各教育機関及び学校の諸活動について概要をまとめたものです。戸田市の教育施策と現状をご理解いただく一助として皆様にご活用いただきますとともに、今後も本市の教育に対し、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年8月1日

戸田市教育委員会  
教育長 戸ヶ崎 勤